

記載例

平成22年度生物多様性体験学習推進事業補助金応募書

平成22年 〇月△△日

千葉県知事 鈴木 栄治 様

(団体の所在地) 我孫子市〇〇町25-3
(団体名) ▲▲小学校ビオトープ整備実行委員会
(代表者職・氏名) 実行委員長 〇 〇 △ △ 印

平成21年度生物多様性体験学習推進事業補助金の交付を希望するので、
書類を添えて提出します。

記

実行委員会(準備会)の
場合は、実行委員長(校
長)の私印
校長の職員は不可

1 補助金希望額

希望額 600,000 円

2 添付書類(それぞれ正副2部)

- (1) 事業の概要(別紙1)
- (2) 収支予算書(別紙2)

連絡先

担当者名 〇〇 〇〇 (▲▲担当)
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

記載例

別紙 1

事業の概要

1. 事業名	▲▲小学校ビオトープ整備（整備 改修 ）
2. 事業費	900,000円（このうち県の支出600,000円）
3. 事業期間	平成22年 7月〇〇日～22年 1月29日
4. 事業場所	事業場所：千葉県我孫子市〇〇町25-3 面積：300㎡ （図面、写真を添付してください。また、事業を実施する場所が 民有地の場合は、使用貸借契約書、覚書等を添付してください。） 〈図面1、図面2、写真資料1を添付〉
5. 現況、これまでの取り組み （改修の場合のみ）	2003年6月 教職員、保護者を中心として、〇〇川の河川敷を利用してビオトープを造成。児童、PTAによる除草作業を定期的に行い、野鳥観察や水辺の生き物観察ができるように整備を行った。 2004年8月 教職員、保護者、地域ボランティアによる「〇〇小ビオトープの会」が発足。毎月2回、奉仕作業を実施。 2005年6月 ビオトープの会により、水生生物観察のための木道を整備。8月に完成し、観察会で利用するようになった。 2008年8月 地域の児童とともに、水生生物観察会を実施し、保護者、地域の方々も参加した。
6. 整備・改修及びその活用の目的	この地域は、市内でも中心部に位置しており、年々宅地化される中で、自然と触れ合う機会が減少してきている。そこで6年前にビオトープを造成し、水辺環境を整備する取り組みが行われるようになった。水辺の動植物を復元し、地域や自然を知るといった学習を生かすとともに、児童が自然に触れ合う機会を創出し、心豊かな児童・生徒の育成を目指してビオトープの改修を進めることとなった。 今回は、4年前に作った木道の改修とあわせて、丸太橋や新たな木道を整備し、児童が水辺の生物とより近くで触れ合えるようにしていきたい。また、ソーラーシステムでポンプを稼働させることで、地球温暖化への理解も深めていきたい。

<p>7. 整備・改修の内容 (図面、イラストなどを添付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ、バッテリーの更新 ・ソーラーパネルの設置 ・古くなった木道の改修 ・新しい木道および丸太橋の整備 ・土留め用の丸太の購入 ・入り口の看板設置
<p>8. 整備・改修後の活用の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理科や生活科の授業において活用する。 ・土日や長期休業中を利用して保護者、近隣住民向けの観察会を開催する。 ・近隣小学校の理科の授業、総合的な学習での利用を促進する。 ・学校便りや学校のホームページを通して、定期的にビオトープの様子を保護者に伝え、環境保全に対する啓発活動を行う。 ・高学年児童で構成する生き物クラブでも観察を行う。 ・地域の社会教育団体「〇〇の会」に開放し、観察会及び環境学習の学習会を開く。
<p>9. 整備・改修及びその活用の予定スケジュール</p>	<p>7～8月 夏休みを中心に、実行委員会で流水部を造成する。</p> <p>8月上旬 ポンプ、バッテリーを設置する。</p> <p>8月中旬 木道と丸太橋の改修・整備を行う。</p> <p>9～11月 生活科及び理科、総合的な学習の授業で観察会を開く。(近隣の小学校も利用)</p> <p>10月 地域の社会教育団体による水生生物の観察会を開く。</p> <p>11月 こどもビオトープフォーラムで発表を行う。</p>
<p>10. 整備・改修後の維持・管理の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAが年2回、ビオトープ周辺の除草作業を行う。 ・生き物クラブで日々の維持管理を行う。 ・念に3回、実行委員会で電気関係及び循環システムの清掃及び補修を行う。

<p>11. 期待される効果</p>	<p>■ビオトープに生息・生育させたい動植物 (動物) メダカ、ドジョウ、ヨシノボリ、モツゴ (植物) ガマ、マコモ、オモダカ、ハンゲショウ</p> <p>■児童・生徒への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物や環境についての授業でビオトープを活用することにより、動植物とその暮らしについての理解が深まる。 ・太陽光発電や水の循環システムを理解することで、環境の保全についての意識が高まる。 ・生き物にふれることで、豊かな心が育ち、生命尊重の意識が育つ。 <p>■地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、近隣住民向けの観察会を開催することで、地域の人々が自然に親しむ機会が増えるとともに、学校への理解が深まる。 <p>■ その他、期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープづくりを学校、保護者、地域住民が一緒に行うことにより、お互いに理解が深まり、地域コミュニティが促進される。
<p>12. 実行委員会の構成 (今後実行委員会を設置する場合は、現時点で想定している実行委員会の構成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長 (実行委員長) ・ P T A 会 員 ・ 教頭、理科担当教諭、児童会担当教諭 ・ 児童会 ・ ○○町の自然を守る会 ・ 自治会長 ・ 地域住民 (有志)

記載例

別紙 2

収支予算書

<収入>

費目	内訳	金額
		円
県補助金		600,000
上記以外の収入 (学校負担金、PTA 負担金、他からの助成金等内訳を記載)	学校負担金 PTA 分担金 NPO ○○町の自然を守る会 負担金	100,000 100,000 100,000
収入合計	(支出合計と同額)	900,000

<支出>

費目	内訳 (名称、単価、個数等を記載)	金額 円
材料費、工事費	ポンプ、バッテリー、ソーラーパネル	350,000
材料費	丸太橋、歩道	220,000
観察会経費	図鑑 (2,000×5冊)	10,000
観察会経費	草刈り機 (50,000×2台)	100,000
観察会経費	実体顕微鏡 (50000×3台)	150,000
観察会経費	講師謝金 (20000×2回)	40,000
観察会経費	講師旅費 (2500×2回)	5,000
観察会経費	観察会資料印刷費 (50円×500枚)	25,000
支出合計	(収入合計と同額)	900,000